

ご取材のお願い

2021年11月1日

農林水産省推進の「Let's！和ごはんプロジェクト」に連動したオンライン学習会 「正しく学ぼう『食の安全』～検査と和食の意外な関係～」開催

日時:11月8日(月)10:30～12:00

コープデリ生活協同組合連合会(本部:埼玉県さいたま市、理事長:土屋 敏夫、会員生協:関東信越の7生協)は、11月8日(月)、オンライン学習会「正しく学ぼう『食の安全』～検査と和食の意外な関係～」を、コープデリ商品検査センター(埼玉県さいたま市)にて開催いたします。



写真はイメージです

和食の日(11月24日)を含む11月は、農林水産省が推進する「Let's！和ごはんプロジェクト」の集中活動月間「和ごはん月間」です。コープデリ連合会は同プロジェクトに連動し、プロジェクトメンバーのハナマルキ株式会社にご協力いただき、和食についてのオンライン学習会を開催します。

当日はコープデリ商品検査センターと、長野県伊那市にあるハナマルキ株式会社の「みそ作り体験館」をオンラインで結びます。コープデリ商品検査センターの微生物担当検査員による「発酵と腐敗の違いについて」の解説や、ハナマルキ株式会社による「みそとこうじの話」など和食に欠かせない発酵食品について学習します。

－「正しく学ぼう『食の安全』～検査と和食の意外な関係～」概要－

日時: 11月8日(月)10:30～12:00

場所: コープデリ商品検査センター(住所:埼玉県さいたま市北区吉野町2-1417)

内容: ①コープデリ商品検査センターオンライン見学

②発酵と腐敗の違い 講師:コープデリ商品検査センター微生物検査担当検査員

③みそとこうじの話 講師:ハナマルキ株式会社

対象: 一般消費者、組合員 ※テレビ会議システム「Zoom」を使用します。

コープデリ商品検査センターでのご取材が可能です。ご取材を希望される方は、下記の連絡先までご連絡くださいませう宜しくお願い申し上げます。

農林水産省「Let's! 和ごはんプロジェクト」とは

忙しい子育て世代に、子どもが身近・手軽に「和ごはん」を食べる機会を増やしてもらうため、企業等の新たな商品・サービスの開発・販売、子ども向けメニューの展開等を促進するためのプロジェクトです。

このプロジェクトを通じて、味覚が形成される子どものうちに、和食の味や食べ方の体験の機会を増やし、ユネスコ無形文化遺産に登録された和食文化の保護・継承につなげていきます。

ホームページ：https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/culture/wagohan_project.html

「コープデリ商品検査センター」とは

1995年より稼働してきた旧商品検査センターの老朽化に伴い、2018年4月に移転・拡張した、コープデリグループ自前の商品検査施設です。独自の商品検査センターを持つことにより、検査期間の短縮、組合員への迅速な情報提供を可能にしており、2020年度は約3万件の検査を実施しました。

あわせて、定期的に学習会を開催し、商品を検査する様子をガラス越しで間近にご覧いただいたり、検査センターの役割等をパネルや動画でわかりやすく紹介したりと、組合員をはじめとする多くの方に食の安全について理解を深めていただいています。コロナ禍により来館見学受付は中止とさせていただいておりますが、ホームページを活用した「在宅応援企画」のほか、オンラインでの見学会を開催し、組合員・地域の皆さまに食の安全を伝え続けています。

ホームページ：<https://kensa.coopdeli.coop/>

コープデリ生活協同組合連合会 概要

【住 所】 埼玉県さいたま市南区根岸 1-4-13

【理 事 長】 土屋 敏夫(つちや としお)

【会員生協】 コープみらい、いばらきコープ、とちぎコープ、コープぐんま、コープながの、コープにいがた、コープクルコ

【総事業高】 6,286億円(7会員生協事業高計) ※2020年度

【組合員数】 518万人(会員生協組合員計) ※2021年10月20日現在

【ホームページ】 <https://www.coopnet.jp/>